

# 総務建設委員会

令和7年11月10日～11日

賑わうまちづくりの手法  
を探る

## 新城 軽トラ市

商店街の衰退対策で、地元有志が主体となって、月一回の軽トラ市を立上げ、既に168回開催している。行政の人的支援はあるが、補助金はない。

当初は否定的であった地元商店も、集客を目の当たりにし、現在は共存している。地域活力低下に、この軽トラ市が歯止めをかけている。

## 富士宮市 特産品でまちおこし

初代B-1「グランプリ」で有名な「富士宮やきそば」を目当てに、県外からの観光客が増加。行政の支援はなく、民間主導で活動している。



軽トラを使った市場

(副委員長  
廣瀬  
実)

## 視察を終えて

地域の食材を活かしたまちづくりが地域外からの集客に大きく貢献している。

どちらも、強力なリーダーシップをもち、地域全体をひっぱる人材が必要と感じた。

できる。

介護ボランティア制度に特徴があり、高齢者が介護保険施設等でボランティアを行った場合「ポイント」が与えられ、換金も

子育て・高齢者支援の  
向上をめざして

## 筑前町(子育て支援) 篠栗町の特徴的な取組み

筑前町では「子どもの権利条例」を制定し、全ての子どもが持つ権利保障をしている。これにより、子ども自身が自分にも権利があるという認識が根付いている。

参考になった。今後、本町の子育て支援、高齢者支援施策をさらに充実したものとするため、調査研究を重ね、今ある事業の更なる向上をめざしたい。

(副委員長  
竹内 啓視)



# 文教厚生委員会

令和7年10月29日～30日

## 視察を終えて

両町の取組みの内容は、大変参考になった。今後、本町の子育て支援、高齢者支援施策をさらに充実したものとするため、

## 篠栗町(高齢者支援) 篠栗町の特徴的な取組み

筑前町では「子どもの権利条例」を制定し、全ての子どもが持つ権利保障をしている。これにより、子ども自身が自分にも権利があるという認識が根付いている。